

取組事例 14

助産師と協働した避難所の訪問相談（岩手県沿岸部）

特定非営利活動法人参画プランニング・いわては、もりおか女性センターの指定管理者で、東日本大震災以前から同センターにおいて女性の悩みや女性に対する暴力の相談を行っていた。

この経験をもとに、東日本大震災から2か月後にあたる平成23年5月10日から、女性のための相談「女性の心のケア ホットライン・いわて」を開始しこころのケアを実施した。これは、内閣府、岩手県、盛岡市・もりおか女性センター、社団法人日本助産師会岩手県支部、いわて生活協同組合と協働で行ったものである。

日本助産師会岩手県支部は、参画プランニング・いわてと平時から交際相手からの暴力に関する取組を行っていたことから連携して各避難所を巡回し、血圧を測るなどの専門性を活かしながら女性たちから話を聴くことができた。また、助産師は避難所にいる女性たちのお産に関わったこともあり、顔見知りが多いこともあって話がはずんだ。このような取組は、平時よりネットワークがあったために可能となったものである。